



路材協会報

路面標示材協会

東京都千代田区神田佐久間町2-13(深津ビル)
〒101-0025 Tel(03) 3861-3656
Fax(03) 3861-3605

目 次

共生の中の新たな価値の実現へ	理 事 新美 賢吉	1	
路面標示用塗料の環境対応について考えてみる	小森 広志	4	
平成12年中の都道府県別交通事故死者数	事 務 局	11	
事務局便り	15	余滴	15



共生の中の新たな価値の実現へ

理 事 新美 賢吉

新世紀を迎え、早や数ヶ月を過ぎようとしています。20世紀末の昨年、我が国では、経済の低迷、政治不安、さらに、民間企業での乳製品メーカー問題から自動車メーカーのクレーム隠しと、人々の信頼を失うような事が続きました。一方では、情

報化社会のめざましい技術革新により、グローバル化が進み、幅広い生活環境整備が要求されてきました。

新世紀になった今年は何が変わるのでしょうか、また、私達の行動もどうあるべきだろうかと、ここらで再度確かめておく必要がありますでしょう。

現状をみると、国内全般における経済環境は依然として厳しい状況が暫く続くと予測され、交通安全施設整備事業の関連も、財政面欠乏の余波をうけて、事業減少を余儀なくされています。それに加えて、地球温暖化等の環境問題、リサイクル問題、交通バリアフリー法等への新たな対応を我々の業界でも求められているとともに、IT等の情報化、高齢化、情報公開や説明責任、製造物責任といった時代環境が、多くの課題を投げかけているのはご承知の通りであります。

我々の路面標示用塗料においては、無公害化塗料、高機能舗装対応塗料、耐久性塗料、無溶剤塗料等、時代の要求に対応した製品開発は勿論のことではありますが、上記のような新たな時代環境に対応すべく、諸課題への取組みが急務と考えます。

さて、昨年11月に交通バリアフリー法（[高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律]）が制定されました。障害者や高齢者の安全かつ円滑な移動を確保する必要な案内情報を提供するために、標識令の一部改正等の法整備も行われてきました。しかし、ひと口に高齢者、障害者といっても千差万別です。現実的にはあらゆる立場の人々を対象とするのは困難ですが、ノーマライゼーション、即ち、障害者、高齢者が健常者と同じ生活のできる生活環境を確保していくために、今、各種のこころみが行われています。

例えば、東京都の地域バリアフリー化では、高齢者、障害者等を含むすべての人々が、自力で安全かつ自由に行動し、社会参加のできるやさしい町の実現をめざして、次の3つの課題に取り組むことになっています。

1. 個々の施設のバリアフリー化

建築物、道路、公園、公共交通施設等の各施設のバリアフリー化

2. バリアフリーネットワークの形成

町づくりの中で、計画的にバリアフリーのネットワーク化を図る取組み

21世紀にふさわしい 環境づくりに取組む



路面標示用塗料(溶融用)

キクスイ

キクスイ ペイント
(常温用・加熱用)

公共環境を表現する

株式会社キクテック

本社 〒457-0836 名古屋市南区加福本通1-26
TEL 052-611-0680 (代) FAX 613-3934

3. ソフト面の取組み

歩道上の放置自転車や商品のせり出しをしない、困っている人に声をかけるといった福祉の町づくりに対する理解と協力を求める取組み

こうしたバリアフリー化に的確に対応していくためには、健常者の立場でなく障害者の立場から真にバリアフリーに適っているかを考える姿勢が大切です。

そうした本来の目的を目指し、私達も機能的な路面標示用塗料製品の提供を通じて、街中のさまざまな場面で人々の生活をより安全で、豊かで利便性の高い道路空間づくりの一役を担っていく必要があります。

また、まだまだ車社会が肥大化していく中で、依然として大きな社会問題である多発する交通事故や交通渋滞等の課題、そして、公共交通機関の利便性向上などの諸問題を解決するために、ITS（高度道路交通システム）が国土交通省関連では進められています。

このITSの地域展開の目標として、次のようなことが掲げられています。

- ・人、車、自然が共生できる街
- ・交通弱者も元気に活躍できる街
- ・誰もが自由にモビリティを享受できる街
- ・新たな産業と情報化を創出する街

こうした取組みを進める中で、路面標示用塗料の役割も冒頭に示した各種の高機能化した塗料への開発が必要であると実感しています。そして、それらは、市場としての開拓と定着（いわば変革）に向けて、業界が相互に取組むよう努力を払うべきことでしょう。

ここ数年間の自主的な需要調査によれば、標示用塗料の数量ベースは、芳しいものではありません。無論、生産増加、消費増加による繁栄への形態というのは、すでに終わったとの認識にあるのですが、いつまでも自然衰退のような逐次減少続きがおこるのではたまりません。新しい機能と展開性をもった技術開発と市場開発で、現状打破を必要とする故因はここにあるのです。

常にすべてのお客様と一緒に考え、新たな価値の実現へと導く姿勢で取り組んでいける業界であるために切磋琢磨していきたいものです。

（株）キクテック 取締役営業本部長

路面標示用塗料 3 種 [レーンマーク] 製造

レーンマーク工業株式会社

83年度中国通産局長表彰受賞
日本工業規格表示許可工場

〒731-1142 広島市安佐北区安佐町飯室字森城6864

TEL (082) 835-2511 (代)

路面標示用塗料の環境対応について考えてみる

小森 広志

1. はじめに

20世紀は化学工業をはじめ各産業が大きく発展し、交通、通信等の発達により国際化も大きく進んだ世紀であったと考えられます。しかしながら、それは石油などの資源の消費を基盤にした、大量消費のかたちで発展してきたものであり、現在これらのつけが色々なところで問題になってきています。特に、安全、環境にかかわる問題については、21世紀においてこれらの負荷が大きいのしかかってくるものと思われま

す。地球上には、何十億人も多くの人が生活し、活動をしています。活動をすればそれだけ膨大なエネルギーが必要になり、それが資源を次第に枯れさせ、地球の環境条件を変化させていきます。

そこで今回、未だ具体的な提案にまではなりません、路面標示用塗料の環境対応について私なりに考えてみることにし、その幾つかについて、以下概略を述べてみます。

路面標示用塗料

トアライナー

MR(溶融)・P(ペイント)

株式会社 トウペ

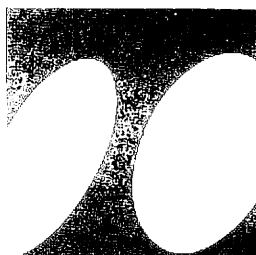
本社/堺市築港新町1丁5番地11 千592-8331

☎0722(43)6419

支店/東京都中央区日本橋室町2丁目3番14号(古河ビル)

☎03(3279)6441(大代)

千103-0022



2. 循環型社会形成推進基本法について

現在の先進国の社会、経済体制は化石燃料、鉱物資源などの消費を前提としたものになっており、この自由経済のもとでは簡単に削減することは非常に難しい状況にあります。このうち、エネルギー源の主体となっている石油の地球における埋蔵量は、現在ではあと数十年とされており、埋蔵の新規開発と需要量の急激な増加との兼ね合いを考えると将来の需給の見通しは、はっきりしていません。しかし、このままの状況で推移すると、資源、環境などの問題から現状社会の持続は難しくなります。そこで我が国でも従来の大量生産、消費、廃棄という経済活動やライフスタイルを変える必要を考慮して「循環型社会形成推進基本法」というものが作られ、この下に各種のリサイクル法や資源有効利用促進法、グリーン購入法などが制定、整備されてきております。そして人や企業の活動も、これらの体制変革に従ったものに変えてゆくことが求められるところであります。

ところで、「循環型社会形成推進基本法」では、次のような処理の優先順位を決めています。

- ①発生抑制
- ②再使用
- ③再生利用
- ④熱回収
- ⑤適性処分

総合力でニーズにお応えする セキスイ道路標示材

- 溶融タイプのジスライン
- 感圧貼付シートのジスラインDX
- 加熱融着シートのジスラインS

道路標示材の専門メーカーとして
セキスイは豊富な経験と技術で
優れた製品を創り、交通安全に寄与しています。
耐久性・耐摩耗性・鮮明さは高い評価をいただいています。



交通安全・環境保全に貢献する
積水樹脂株式会社

本社

〒530-0047 大阪市北区西天満二丁目4番4号

(堂島関電ビル6階) TEL 06(6365)3244

ジスライン



これは①から⑤に向かって、資源、環境への影響が少ないと考えられる順位になっています。

実際に対応するに当たっては、この上位のものの採用が望ましいと考えられますが、処理システムの構築、経済性などから実行は難しいものも多いと考えられます。しかし、法規制の主旨からそれらは実行されなければなりません。

このような①から⑤の対応は、塗料・塗装の分野においては、原材料の調達、塗料製造、塗装などの過程において発生する廃棄物及び被塗物の廃棄など、ライフサイクルを通して考える必要があります。

また、これらの問題、対応についての解決策には、いくつかの案がありますが、まず全体を通して、また重要と考えられる問題について次のよう（3項～5項）取り上げてみました。

3. VOC（揮発性有機溶剤）の大気への放散について

我が国の塗料生産量は、このところ約200万トン／年の前後で推移しており、このなかの90万トンあまりが溶剤類です。これらは原料調達、製造から塗装の過程において大気へ放散されていますが、特に現状では使用されている溶剤のほとんどは塗装の過程で大気中に放散されています。これは再資源、大気汚染の点から見過ごされなくなるものと思われれます。

ここでまず、「発生抑制」について考えてみると「塗料に使用されている溶剤



神東塗料株式会社

スーパーミライナー

（雨天夜間高視認性標示材）

シントーライナー（溶融型）

シントーライナー（常温型，加熱型）

S Pロード（すべり止め塗料）

本 社 〒661-8511 尼崎市南塚口町6-10-73 (TEL (06)6421-9865)

東京本社 〒136-0082 東京都江東区新木場4-12-12 (TEL (03)3522-2353)

の低減」が全体を通じての対策となります。これには、「低溶剤化」「無溶剤化」、具体的には「水性化」「粉体化」「無溶剤化（液状）」などとなりますが用途、被塗物などに対して効果の高いもの、採用のできるものから実施することが重要と考えます。これらの対策として、路面標示用塗料としては、主に道路公団国土交通省（旧建設省）等で従来使用されていた溶剤型ペイントに替わって、水性型ペイントが使用され始めています。また粉体化としましては、従来より使用されている溶融用ペイントがあります。また一部ではありますが、高視認性標示材として無溶剤化タイプが使用されています。

4. 再使用、再生利用について

塗料製造時、及び塗装時に放散される溶剤類の回収に対しては、「捕集、回収」というのは考えられますが、路面標示用塗料は屋外での塗装が主であるため、実際上の解消はできず、これらの対策は「塗料中の溶剤類の削減」に依らざるを得ないと考えます。

また、この「塗料中の溶剤類の削減」などの対策を行うについては、その代替の塗料種、塗装方法などのライフサイクルにおいて、エネルギー消費、CO₂放散、その他の環境影響などについてのアセスメントを行わないと、必ずしも適切な対策になっているかどうか、わからないところもあります。

高性能溶着式路面標示用塗料

フジライソ

藤木産業株式会社

〒592-8331 大阪府堺市築港新町2-6-50
TEL. 0722-44-5588(代) FAX. 0722-44-6639

5. 塗膜の耐久性向上などによる資源保全


塗料には、被塗物の保護という重要な役割があります。塗膜の耐久性を上げることは、被塗物の寿命を延ばすことによる省資源とともに、被塗物によっては、補修などの回数を減らすことによる塗料自体の省資源に結びつく事が考えられます。路面標示用塗料は道路に線状や図示・記号のほか、横断歩道の標示塗装が主用途ですが、交通上での安全を考慮した、滑り止め舗装塗料等により、路面（被塗物）を保護して補修の回数を減らすことに役立つような、耐久性のある塗料の開発が必要と考えます。

6. 廃塗料、廃容器等の問題

廃塗料、廃容器などについては市町村などの廃棄処理の対応の問題から一般消費者が大変困っています。また一方、容器包装の製造、利用事業者などに分別収集された容器包装のリサイクルを義務づけた「容器包装リサイクル法」が制定されており、これに対応することが必要になります。

塗料は、これらの対応に対して、非常に難しいものに属していると考えられますが、このままでは済まないと思われれます。路面標示用塗料におきましても、廃塗料、廃容器の問題がかかわってきます。

現時点では、溶融用においては塗装時（溶解時）において、容器としている袋を塗料と同時に溶融し廃棄容器をださない方法もとられています、リサイク



ATOMIX

さらに一歩。
人と環境の共生に向けて。

アトミクス株式会社 (旧社名：アトム化学塗料株式会社)
本社／〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3111 FAX.03-3968-7300

ル、再利用とはなっていません。ペイントタイプにおいては容器はドラム缶、石油缶の金属製品が主で廃容器がでできます。従って使用する塗料形態が変わること（水性化）や、塗装方法を変えることにより、廃容器のリサイクル、再利用を考えていかなければならないと思っています。

又、事業向けのものについては、従来は廃棄物処理業者で処理してくれるから問題ないと思われませんが、リサイクル法では容器の製造とその使用者の責任が明確にされていますので、塗料についても、いつまでも傍観者の立場にいるわけにはいかず、関係者と協力して具体的なリサイクル、再利用の構築を求められることになるだろうと思われます。

7. おわりに

ここまで述べてきた問題の項目だけでなく、循環型社会の構築に対して、石油などの資源に依存している塗料に対しては、今後色々な問題解決が求められてくるでしょう。安全、環境などの問題は、企業にとっては、その営業利益に対しては、一般にマイナス要因であります。さらにまた政治・経済システムにおいても資源・環境影響などの社会リスクから変革が必須となるものと思われます。企業は激しい競争の中で利益を上げることを求められていますが、日頃からこれらのリスクを想定しておかないと企業の存続自体が危ぶまれることになりかねません。

路面標示用塗料

タイヨーライン（溶融型）

マークラインC2000（常温型）

マークラインH5000（加熱型）




太洋塗料株式會社

本社 〒144-0033東京都大田区東糀谷6-4-18 TEL03-3745-0111代
第2工場 〒144-0033東京都大田区東糀谷5-8-3 TEL03-3745-3921

21世紀は大量生産、消費体制の歪みを正し、将来に持続できる社会を構築しなければならない時代です、このためには、我々の業界においても路材メーカー、塗装業者の英知を集めて対応する必要があります。塗料は被塗物に塗られて初めて、性能（機能）を発揮しますが、塗られた塗膜の環境への影響（塗装後）、塗装時における環境への影響、塗装後の容器等の廃棄等を考えた路面標示用塗料や塗装システムを、今後我々も逐次構築していかなければならないと感ずる次第であります。

参考文献：工業塗装 循環型社会に対応する塗装工業の現状と展望

(株)トウペ 技術部道路塗料課長 路材協技術委員)




ラインファルト® 大崎工業株式会社
本社 〒593-8311 大阪府堺市上 8 9 番地
TEL 0722-72-1453 (代)
営業所 〒144-0033 東京都大田区東糀谷 4-1-4
TEL 03-3743-3004 (代)

路面標示用塗料 非リブ式高視認性路面標示用塗料

アズマライン ハイグリップ

道路関連資材・交通安全用品全般



セー化成株式会社

本社・工場 〒421-0113 静岡県静岡市下川原3555番地
TEL 054-258-5561
支店・営業所 東京・大阪・九州・静岡・北陸・東北・北海道

平成12年道路交通事故統計

(警察庁交通局交通企画課資料より)

事務局

平成12年の道路交通事故は、前年と比べ、発生件数、死者数、負傷者数とも増加し、特に、死者数は平成8年に1万人を下回って以来、4年連続して減少していたが、5年ぶりに、9,066人と60人増加した。又、負傷者数は昨年に引続き100万人を突破している。

平成12年（1～12月）までに発生した交通事故は、

区分	件数・人数	(1日平均)	前年同期比
発生件数	931,934	(2,546)	+81,571 (+9.6%)
死者数	9,066	(24.8)	+60 (+0.7%)
負傷者数	1,155,697	(3,158)	+105,300 (+10.0%)

状態別死亡事故件数

状態別	人数	構成比 (%)	前年同期比
自動車乗車中	3,953	43.6	+ 81人 (16～24歳 898人)
歩行中	2,540	28.0	- 31人 (75歳以上 970人)
自転車乗用中	984	10.9	- 48人
自二乗車中	795	8.8	+ 52人
原付乗車中	780	8.6	+ 7人

昼夜別死亡事故件数

昼夜間別	件数	構成比 (%)	前年同期間比 (件)
昼間	3,889	44.7	- 47
夜間	4,818	55.3	- 43

この中で、道路形状別の事故件数を見ると、昼間は、交差点及び交差点付近の事故の割合が48.1%と夜間より高く、夜間は、単路での事故の割合が39.5%と昼間より高い。

目のフロント

ボンライン

SK 信号器材株式会社

〒211-8675 川崎市中原区市ノ坪160 ☎044(411)2191

都道府県別交通事故発生状況

1) 多いところ

「発生件数」

都道府県	件数	増減数
東京都	91,380	+17,169人
神奈川県	69,788	+4,881人
大阪府	63,272	+4,767人
愛知県	54,473	+4,186人
福岡県	51,711	+994人
埼玉県	50,441	+6,604人
兵庫県	40,278	+3,084人

「死亡事故」

都道府県	死者数	増減数
北海道	548	+12人
愛知県	443	+68人
千葉県	416	-6人
東京都	413	+15人
埼玉県	389	-21人
大阪府	369	+2人
兵庫県	341	+32人

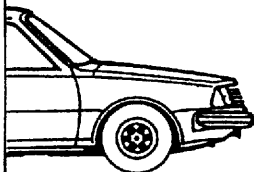
「負傷者数」

都道府県	負傷者数	増減数
東京都	105,073	+19,015人
神奈川県	85,172	+5,888人
大阪府	75,765	+5,751人
愛知県	66,874	+6,192人
福岡県	63,590	+1,446人
埼玉県	63,333	+8,545人
兵庫県	49,398	+3,759人

各種塗料製造販売
道路標示材製造及施工



富国合成塗料株式会社



フクナイン

〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町3丁目7-19
(本社) TEL (078)575-6600 (代)

〒651-2235 神戸市西区扨谷町長谷佃井南145
(工場) TEL (078)991-0158

(支店)大阪 (営業所)東京・名古屋・豊橋・姫路

2) 発生件数、死者数、負傷者数

管 区	都道府県	発 生 件 数			死 者 数				負 傷 者 数		
		12年	増減数	増減率	12年	増減数	増減率	順 位	12年	増減数	増減率
北海道	計	30,806	1,240	4.2	548	12	2.2	1	39,523	1,790	4.7
東 北	青 森	9,191	447	5.1	128	-2	-1.5	27	11,490	1,010	9.6
	岩 手	6,057	616	11.3	133	5	3.9	26	7,565	728	10.6
	宮 城	12,789	557	4.6	177	13	7.9	22	16,281	730	4.7
	秋 田	5,110	246	5.1	96	-6	-5.9	35	6,149	310	5.3
	山 形	7,253	921	14.5	91	-13	-12.5	40	9,183	1,215	15.2
	福 島	14,891	1,092	7.9	192	21	12.3	18	18,853	2,374	14.4
	計	55,291	3,879	7.5	817	18	2.3	**	69,521	6,367	10.1
関 東	東 京	91,380	17,169	23.1	413	15	3.8	4	105,073	19,015	22.1
	茨 城	25,429	1,560	6.5	328	-29	-8.1	8	32,613	2,101	6.9
	栃 木	15,437	1,039	7.2	220	9	4.3	15	19,923	1,486	8.1
	群 馬	20,643	2,286	12.5	185	-9	-4.6	20	27,038	3,243	13.6
	埼 玉	50,441	6,604	15.1	389	-21	-5.1	5	63,333	8,545	15.6
	千 葉	37,979	4,072	12.0	416	-6	-1.4	3	48,325	4,883	11.2
	神奈川	69,788	4,881	7.5	307	-29	-8.6	10	85,172	5,888	7.4
	新 潟	14,799	1,065	7.8	228	7	3.2	13	18,257	974	5.6
	山 梨	7,525	889	13.4	81	-2	-2.4	43	9,934	1,155	13.2
	長 野	14,478	500	3.6	196	-17	-8.0	17	19,030	755	4.1
	静 岡	39,030	3,815	10.8	308	-51	-14.2	9	49,837	5,018	11.2
計	295,549	26,711	9.9	2,658	-148	-5.3	**	373,462	34,048	10.0	
中 部	富 山	8,331	543	7.0	92	-7	-7.1	37	9,954	729	7.9
	石 川	9,645	395	4.3	98	-2	-2.0	34	11,952	509	4.4
	福 井	5,379	262	5.1	90	-11	-10.9	42	6,652	413	6.6
	岐 阜	14,818	1,137	8.3	222	20	9.9	14	20,212	1,432	7.6
	愛 知	54,473	4,186	8.3	443	68	18.1	2	66,874	6,192	10.2
	三 重	12,170	837	7.4	213	9	4.4	16	15,973	1,211	8.2
	計	104,816	7,360	7.6	1,158	77	7.1	**	131,617	10,486	8.7

交通安全

に貢献する

エースライン®

反射材配合の
溶融施工タイプ
(JIS K5665適合品)

ユニライン®

常温施工・加熱
施工タイプ
(JIS K5665適合品)

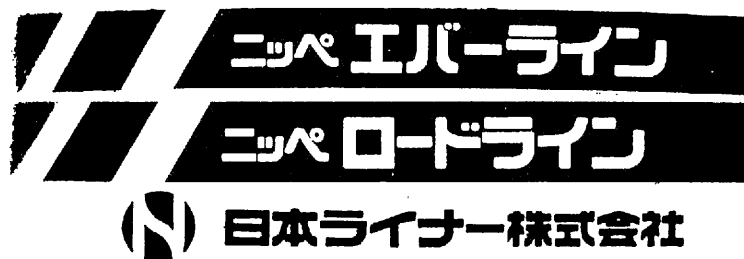
日立路面標示・区画線用塗料

日立化成工材株式会社 (営業本部) 〒113-0034 東京都文京区湯島3-31-6 ☎(03)5688-5330

管区	都道府県	発 生 件 数			死 者 数				負 傷 者 数		
		12年	増減数	増減率	12年	増減数	増減率	順位	12年	増減数	増減率
近畿	滋 賀	9,519	755	8.6	126	-15	-10.6	28	12,731	1,240	10.8
	京 都	19,360	913	4.9	181	28	18.3	21	23,971	1,184	5.2
	大 阪	63,272	4,767	8.1	369	2	0.5	6	75,765	5,751	8.2
	兵 庫	40,278	3,084	8.3	341	32	10.4	7	49,398	3,759	8.2
	奈 良	9,005	275	3.2	100	6	6.4	32	10,430	254	2.5
	和歌山	8,946	383	4.5	100	4	4.2	32	10,933	511	4.9
	計	150,380	10,177	7.3	1,217	57	4.9	**	183,228	12,699	7.4
中国	鳥 取	3,074	397	14.8	55	-3	-5.2	47	3,943	530	15.5
	島 根	3,290	171	5.5	74	1	1.4	45	3,870	229	6.3
	岡 山	16,335	1,461	9.8	188	3	1.6	19	20,222	1,900	10.4
	広 島	21,212	1,548	7.9	270	48	21.6	12	27,159	2,038	8.1
	山 口	10,748	-138	-1.3	159	-24	-13.1	24	13,075	28	0.2
	計	54,659	3,439	6.7	746	25	3.5	**	68,269	4,725	7.4
四国	徳 島	6,670	408	6.5	73	-4	-5.2	46	8,271	463	5.9
	香 川	11,765	3,539	43.0	120	-4	-3.2	30	14,714	5,523	60.1
	愛 媛	11,490	429	3.9	155	-10	-6.1	25	14,150	501	3.7
	高 知	5,747	330	6.1	91	7	8.3	40	6,917	431	6.6
	計	35,672	4,706	15.2	439	-11	-2.4	**	44,052	6,918	18.6
九州	福 岡	51,711	994	2.0	307	-3	-1.0	10	63,590	1,446	2.3
	佐 賀	7,137	1,452	25.5	92	-24	-20.7	37	8,574	1,836	27.2
	長 崎	8,387	414	5.2	92	21	29.6	37	10,912	533	5.1
	熊 本	13,014	781	6.4	167	2	1.2	23	16,782	1,049	6.7
	大 分	7,803	653	9.1	93	-6	-6.1	36	10,184	834	8.9
	宮 崎	7,977	1,431	21.9	117	14	13.6	31	10,037	1,954	24.2
	鹿 児 島	13,058	775	6.3	123	-3	-2.4	29	15,996	1,166	7.9
	沖 縄	4,294	390	10.0	79	14	21.5	44	4,877	434	9.8
	計	113,381	6,890	6.5	1,070	15	1.4	**	140,952	9,252	7.0
	合 計	931,934	81,571	9.6	9,066	60	0.7	**	1,155,697	105,300	10.0

増減数(率)は、平成11年確定数との比較である。

「安全・円滑・快適」な道づくりを目指して



〒105-0014 東京都港区芝二丁目17番11号 パーク芝ビル
 PHONE; 03-5419-9681 FAX; 03-5419-9688

事務局便り

1. 会員の異動

1) 正会員関係

○大崎工業(株)理事が長谷川氏から山本氏（建設資材事業部 取締役事業部長）に、かわります（4月）。

尚、業務委員は古田氏から長谷川氏となります（4月）。

○キクテック(株)業務委員が竹内（利幸）氏から竹内（政幸）氏（東京支社事業部長）にかかります（4月）。

○(株)トウベ 業務委員が井上氏から土田氏（道路塗料部東京営業課長）に、かわります（4月）。

2. 委員会活動

1) 技術委員会は、「路面標示材料」の改訂作業がほぼ完了し、5月発刊の予定。

余 滴

21世紀の幕開けから、早くも3ヶ月が経過し、新年度（13年度）がスタートしました。

海の向うのアメリカでは、景気が後退するのではないかと、新聞やテレビで報じられています。その影響からか日本の設備投資がやや減速するのではないかと、日本の景気はどうなるのでしょうか？

平成13年度予算も成立しました。

日本政府の経済成長見通しは、低成長ながらプラス成長と言われている。そう願いたい気持ちで一杯です。

平成12年の道路交通事故が、警察庁交通局交通企画課から発表されました。その内容によれば、死者数、事故発生件数、負傷者数とも前年に比べ増加している。

特に、自動車乗車中の死者は、50歳以上で大きく増加し、また、夜間での自動車乗車中の死者でも65歳以上が増加しているなど、厳しい状況下にあります。

これは高齢化社会が到来した事を物語っているのではないのでしょうか。

一般ドライバーはもとより、特に高齢者ドライバーの運転をサポートする為には、「わかりやすい」「見やすい」「良く見える」路面標示を適切に設置する事が効果的であり、望まれるところです。

(小林)

路面標示材協会 TEL: 03-3861-3656 FAX: 03-3861-3605

路材協、技術陣による
路面標示用塗料の総合解説書 (5月発行)

路面標示材料

JIS K 5665「路面標示用塗料」に最新の路面標示塗料等の追加及び工法や表現方法を改めました。

(内容)

第 I 部 基礎編

路面標示用塗料の概要
路面標示用塗料の原料
路面標示用塗料の試験項目と試験方法
路面標示用塗料の施工法
路面標示用塗料などの取扱い上の注意事項
路面標示用塗料の塗膜面に生じる欠陥と対策
高視認性標示
水性路面標示塗料
路面標示塗料用ガラスビーズ
路面標示の反射輝度
その他の路面標示用材料 (貼り付け式、埋設式、等)

第 II 部 応用編

プライマーの効果
路面標示用塗料の黄色
路面標示の夜間視認性
すべり摩擦係数と路面のすべり
安全を守るための関係法規
路面標示のクラック
路面標示用塗料のピンホール、ふくれ
路面標示用塗料の汚れ
熔融用塗料塗膜の変形
路面標示用塗料 (1種、2種) のにじみ
熱履歴による塗料の品質低下

B5版 190頁 (頒価2,800円) (送料共)

申し込みは 路面標示材協会事務局

東京都千代田区神田佐久間町2-13
深津ビル (TEL. 03-3861-3656)
FAX. 03-3861-3605